

SDGsを活動に活かすために

2019年10月26日 環境省北海道環境パートナーシップオフィス

久保田 学 (公益財団法人北海道環境財団)

kubota@heco-spc.or.jp

今日の内容

1. SDGs とは何か？
2. 統合的・同時解決を考える
3. 活動に活かしていくために

持続可能な開発のための2030アジェンダ

- ✓ 2030年までに実現をめざす世界の共通目標（2015年9月国連総会で採択）
- ✓ 各分野の具体的な目標を持続可能な開発目標（SDGs）として記述。
- ✓ 同年12月の気候変動枠組み条約パリ協定とともに、世界に変革を求めている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



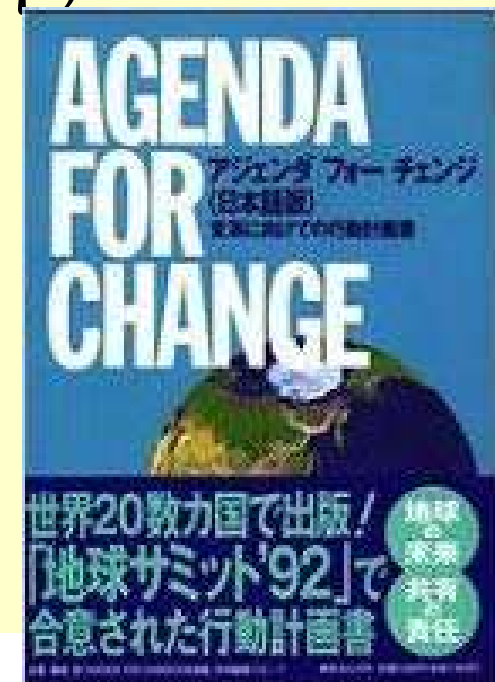
世界共通目標の経緯

1987年 国連環境と開発に関する世界委員会

- ✓ 持続可能な開発 (Sustainable Development) の提唱
「将来世代のニーズを損なうことなく今の世代のニーズを満たす開発」 (= 世代間公平)

1992年 国連環境開発会議 (地球サミット)

- ✓ 全世界の行動計画「アジェンダ21」
- ✓ 40項目 (14項目は環境分野)
- ✓ 先住民・NGO・自治体を項立て
- ✓ 「ローカル・アジェンダ」
- ✓ 気候変動枠組条約・生物多様性条約採択
- ✓ セヴァン・スズキの伝説のスピーチ



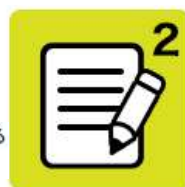
ミレニアム開発目標 (MDGs)

- ✓ Millennium Development Goals
- ✓ 国連ミレニアムサミット (2000年9月) で採択 (~2015年)
- ✓ 8つの目標 (Goal), 21の具体的な目標 (Target), 60の指標
- ✓ 途上国の人間・社会開発が主眼



1. 極度の貧困と飢餓の撲滅

- 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる
- 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる



2. 普遍的初等教育の達成

- すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする



3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上

- すべての教育レベルにおける男女格差を解消する



4. 乳幼児死亡率の削減

- 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する



5. 妊産婦の健康の改善

- 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する



6. HIV/エイズ、マラリアその他の疾病の蔓延防止

- HIV/エイズの蔓延を阻止し、その後減少させる



7. 環境の持続可能性の確保

- 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる



8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

- 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技术による利益が得られるようにする

出典：UNICEF, 国連広報センターサイトより作成

MDGsからSDGsへ

- 1 1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2 2. 普遍的初等教育の達成
- 3 3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 4 4. 乳幼児死亡率の削減
- 5 5. 妊産婦の健康の改善
- 6 6. HIV/エイズ、マラリアその他の疾病の蔓延防止
- 7 7. 環境の持続可能性の確保
- 8 8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を實現しよう
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

MDGsの宿題

新規項目

- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 16 平和と公正をすべての人に

環境各分野が新たに大きく位置づけられた

MDGsでは指標レベル

MDGsではターゲットレベル

SDGsの特徴

- ✓ 普遍性：先進国も途上国も
(都市も地方も，地域も，行政も民間も…)
- ✓ 包摂性：「誰一人取り残さない」
～we pledge that no one will be left behind. (前文)
(公平・公正・寛容…「人権」が基調)
- ✓ 参画性：あらゆる主体・ステークホルダーが当事者
(政府・自治体，企業・事業者，市民セクター，…)
- ✓ 統合性：経済・社会・環境は相互に関連し統合され不可分
(「統合的解決」「同時解決」)
- ✓ 透明性：説明責任，指標による定期的な評価，ガバナンス
- ✓ どこから取り組むかは自由 (～ローカライズ)

5つのP～前文より



手段としてのパートナーシップを重視

環境・社会が経済を支える



SDGsの本質

- ✓ 大変革 : Transforming our world 世界の形を変える
= 今までとは違う世界・社会をつくる
- ✓ バックキャスト : 現在を前提に「できること」
ではなく、あるべき未来像（目標）から必要な取組み
（ステップ）を考える

大事なことは前文・宣言に書いてあります。
（17の目標だけではなく、全文のご一読を！）

目標の理解

✓ Goal (17) : 終極的な目標 (上位目標)

✓ Target (169) : 具体的な2030到達目標

✓ 指標 (232) : 達成度の評価指標

↑
実際のアクション (具体的な目標設定と進行管理) は、
このレベルが対象となる

SDGsへの批判

- ✓ わかりにくい
- ✓ 目標が多すぎる（17分野，169項目）
- ✓ 拘束力がない（各国任せ）



どこまで進んだ？

- 主な活動
- 国際の平和と安全
 - 経済社会開発
 - 開発活動の調整
 - 経済開発
 - 社会開発
 - 持続可能な開発
 - 第7回 アフリカ開発会議 (TCAD7)



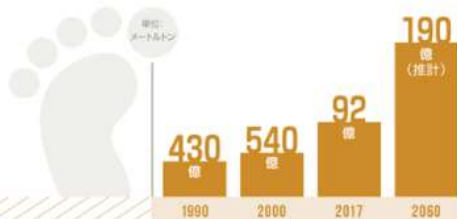
持続可能な開発目標(SDGs)報告 2019

概要



持続可能な消費と生産の確保する

全世界の
マテリアル・フットプリントは
急拡大し、
人口と経済の成長をしのぐ勢い



気候変動とその影響に緊急対策を取る



2018年の地球の
平均気温は、
産業革命前の平均気温を
約1℃上回る

気候・地球物理関連の災害による死者数は、
1998年から2017年までに130万人に上った
と推計される



大気中の二酸化炭素濃度は、
産業革命前の水準の
146%に
(2017年)

地球温暖化を1.5℃に抑えるためには、2030年までに世界全体の炭素排出量を2010年水準の55%に引き下げるとともに、2050年までに正味排出量をゼロにするよう、急激な削減を続けることが必要



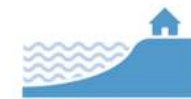
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

海洋酸性度は、産業革命以前との比較で

26% 上昇

2100年までに、さらに
100~150%急上昇する見込み

海洋酸性化は海洋の二酸化炭素吸収能力に影響をきたし、海洋生物を危険にさらす



沿岸海域
220カ所のうち
104カ所で、
沿岸水質が改善
(2012~2018年)

生物学的に持続可能な
水準にある魚類資源の
割合は、

90% (1974)

67% (2015)

へと減少

87カ国が、

違法・無報告・無規制漁業
に関する初の
拘束力を持つ
国際協定となる、
寄港国措置協定に署名

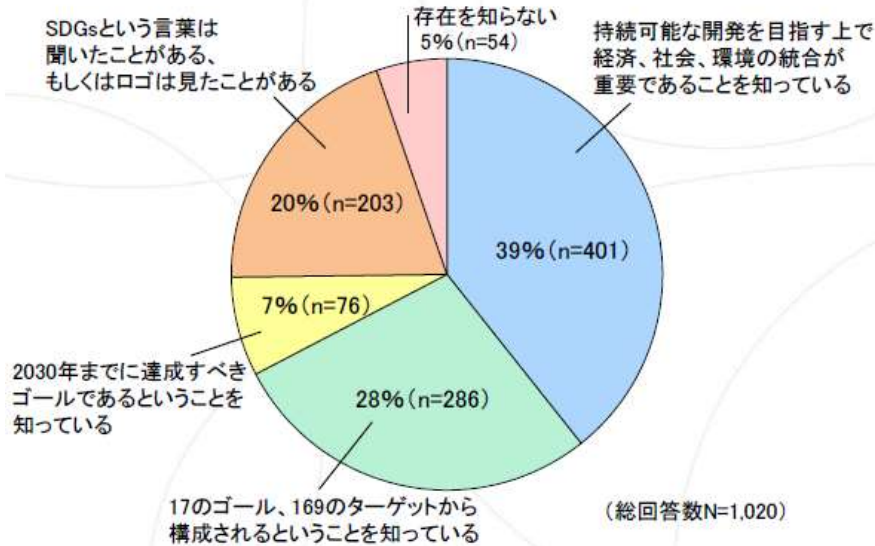
国家の管轄下にある水域の
17%が、
保護区に指定



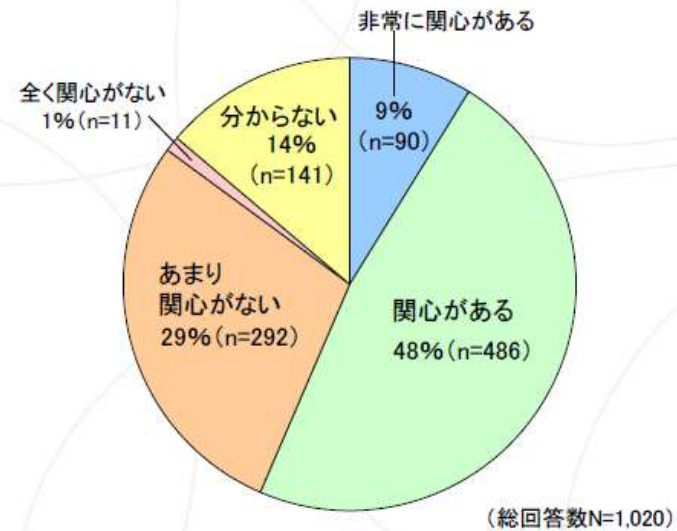
2010年の割合の
2倍 以上に

自治体の認知度・取組み状況

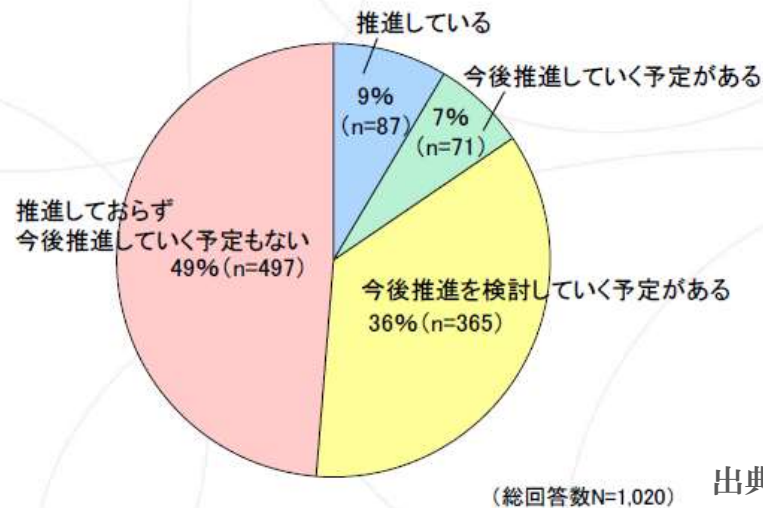
SDGsについてどの程度ご存知ですか？



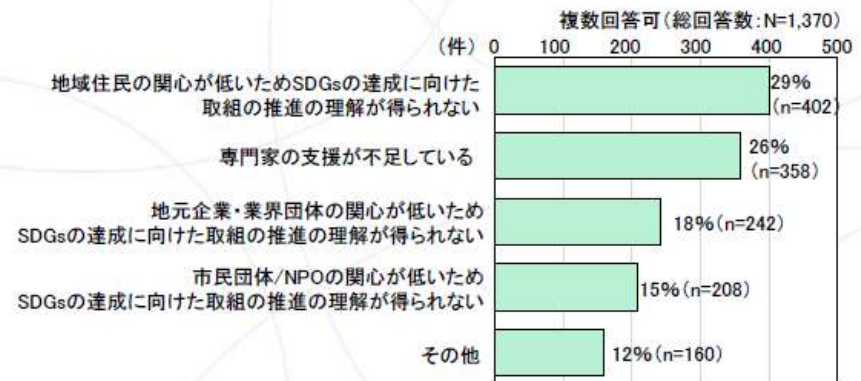
SDGsについてどの程度ご関心がありますか？



SDGs達成に向けて取り組みを推進されていますか？



他の関係者との連携に関するバリアー(複数回答可)



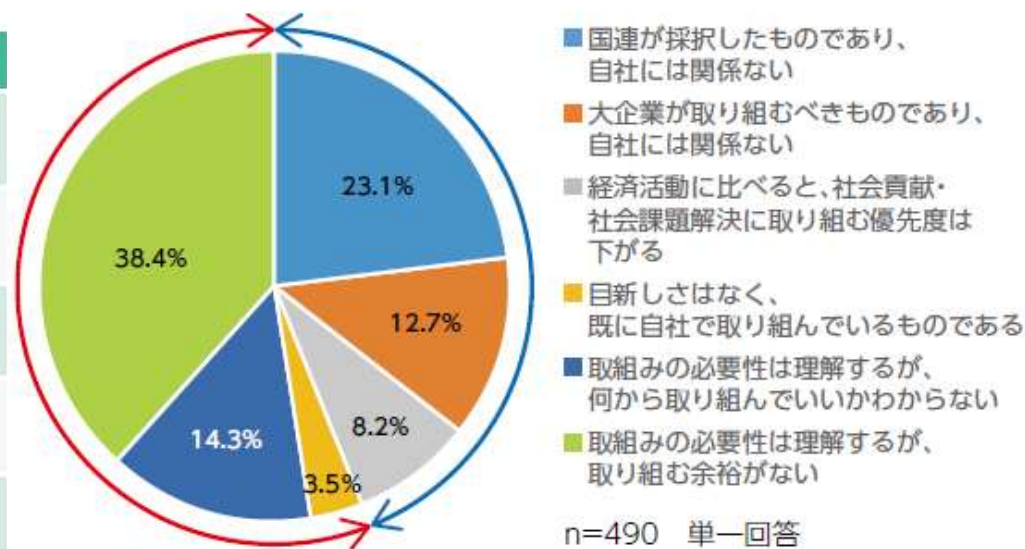
企業の認識・取組み状況

GCNJ会員主要企業500社(8割は大企業)
対象の調査(2019年2月)

関東経済産業局・日本立地センターによる中
小企業経営者対象のWEB調査(2018年12月)

Q. 貴社・団体内のSDGsの認知度について、あてはまる状況を下記より
選択してください。(複数回答)

	2015年	2016年	2017年	2018年
主にCSR担当に定着している	61%	84%	86%	84%
経営陣に定着している	20%	28%	36%	59%
中間管理職に定着している	4%	5%	9%	18%
従業員にも定着している**	—	—	8%	17%
関連会社などステークホルダーにも定着している*	—	3%	2%	4%
わからない	15%	12%	7%	3%

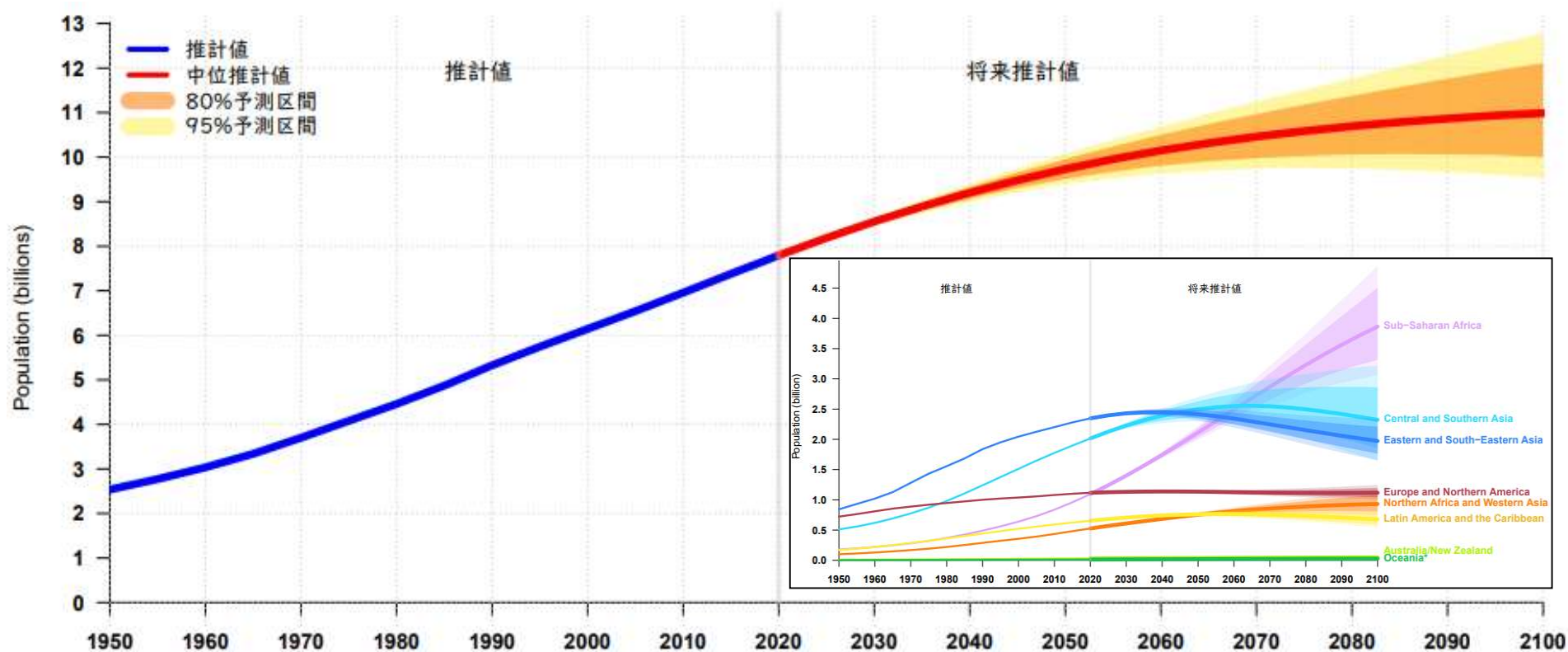


(赤矢印：取組みの必要性理解、青矢印：関係ない・優先度低)

出典：主流化に向かうSDGsとビジネス～日本における企業・団体の取組み現場から
(2019年2月，一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン，公益財団法人地球環境戦略研究機関)

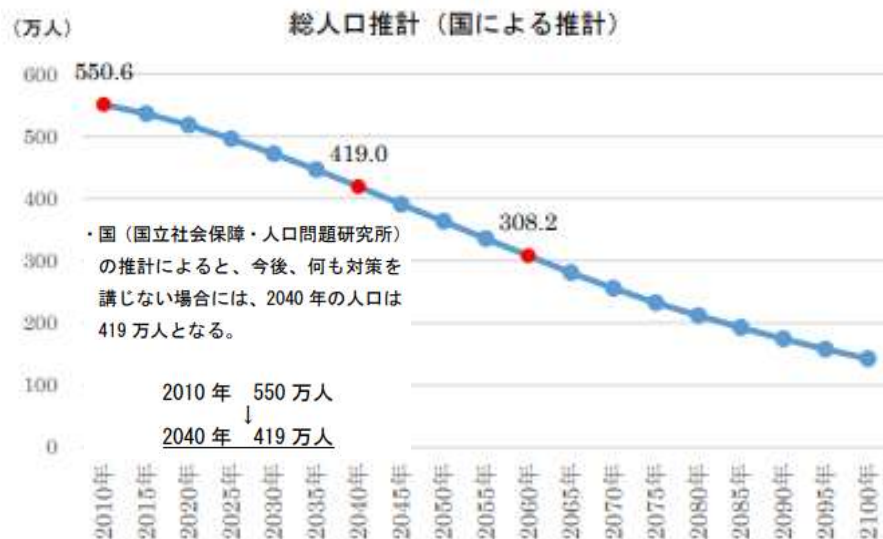
私たちの未来？

世界人口の推計値：1950～2020年の推計値，
2020～2100年の中位推計値及び80%・95%予測区間



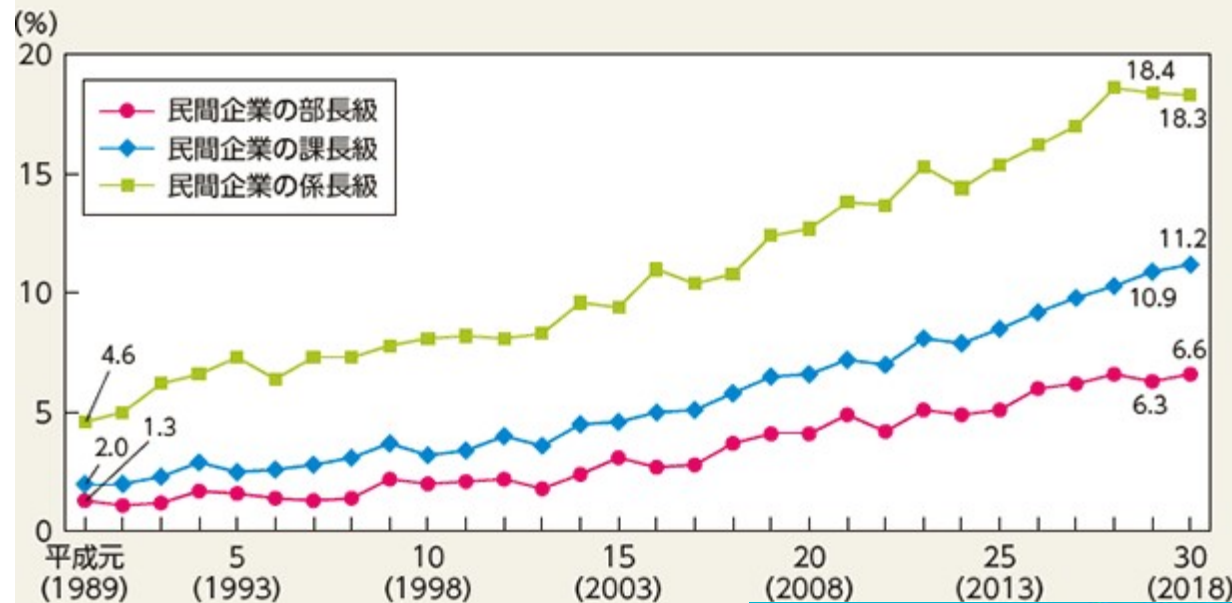
出典：国連世界人口推計2019年版

子世代・孫世代の北海道

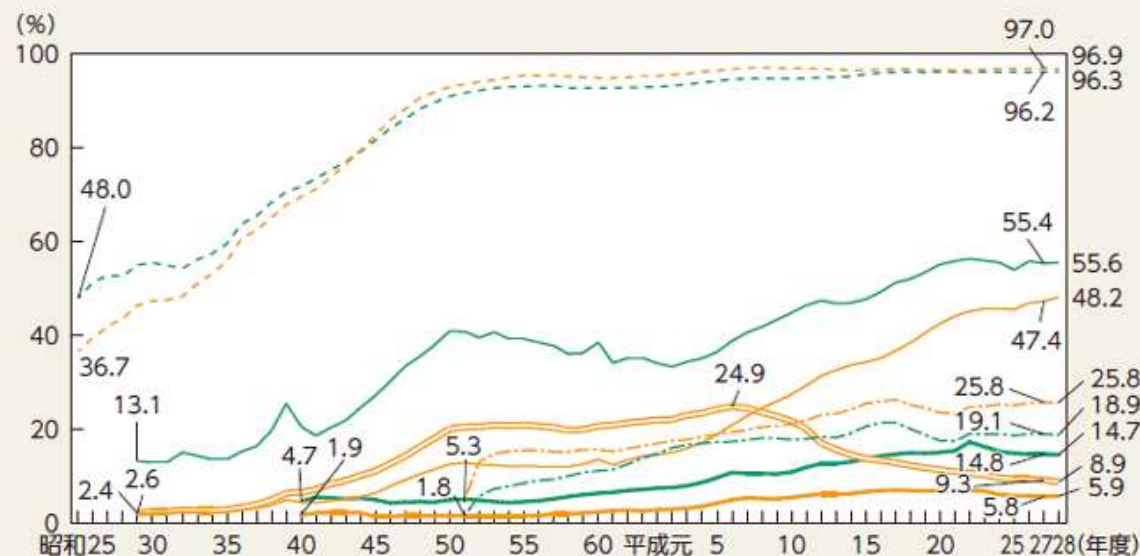


出典：北海道人口ビジョン 概要版（2015年）

I-2-12図 階級別役職者に占める女性の割合の推移



I-5-1図 学校種類別進学率の推移



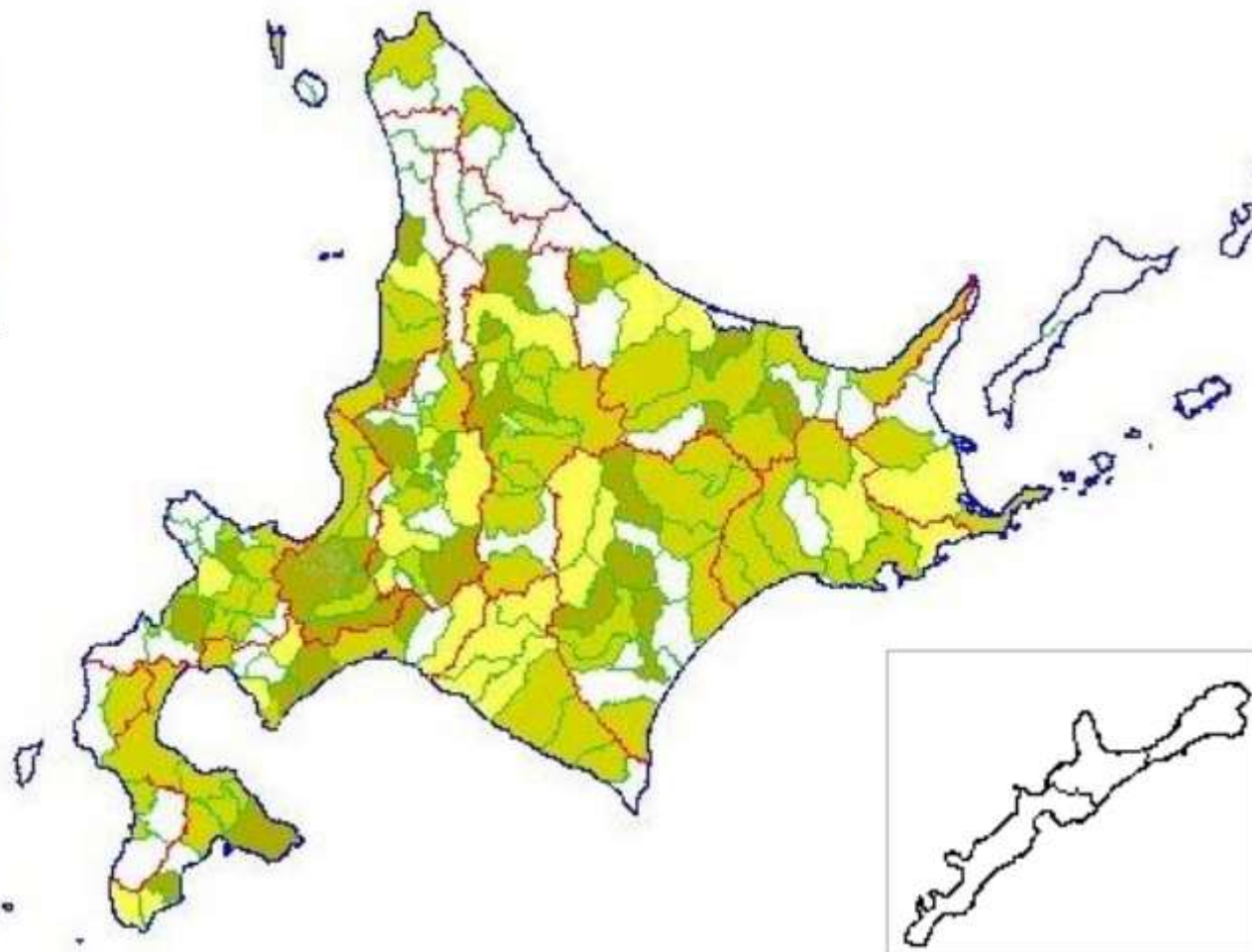
「頑張っても公正に報われない社会もある」
(上野千鶴子)

図出典：男女共同参画白書 (2019年, 内閣府)

市町村議会議員に占める女性比率

平均比率	市町村数
20%以上	30
10%以上20%未満	69
3%以上10%未満	25
0%	54
合計	178

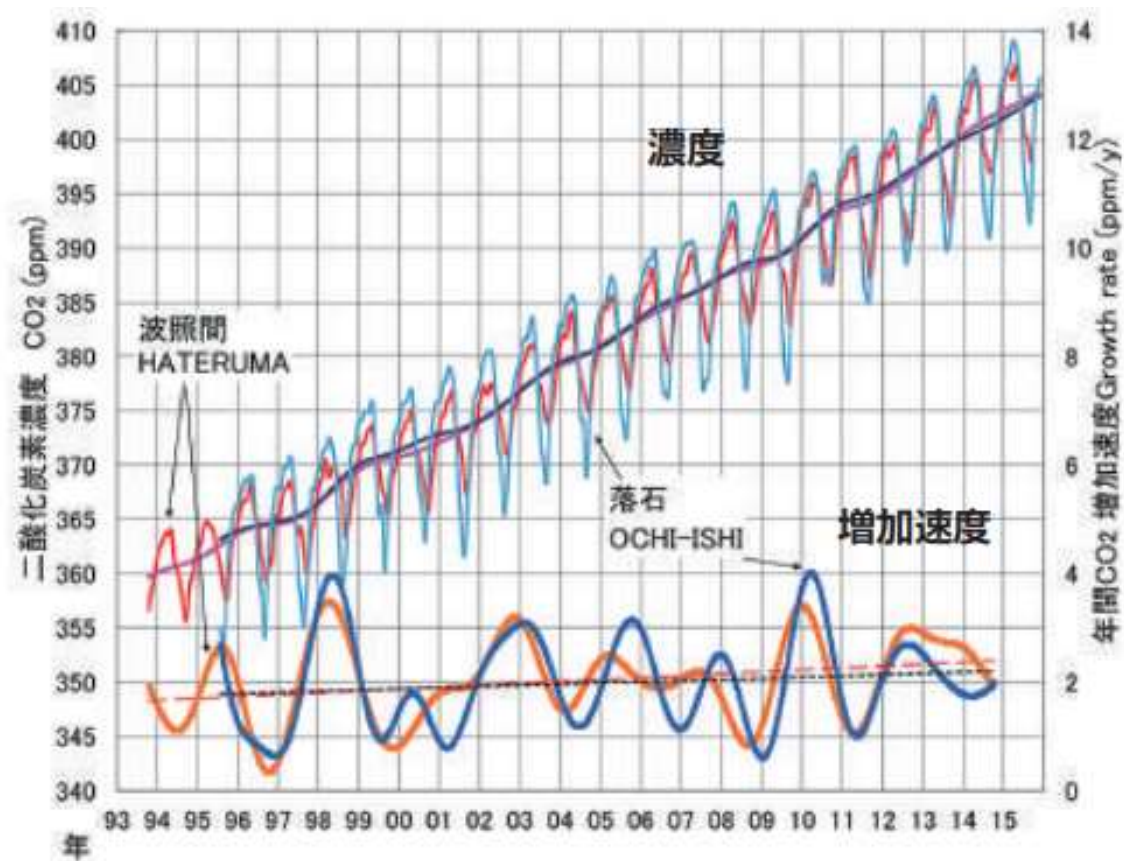
上位10市町村		
順位	市町村名	比率(%)
1	歌志内市	37.5%
2	江別市	37.0%
3	南幌町	36.4%
4	奈井江町	33.3%
5	北広島市	31.8%
6	函館市	30.0%
7	新十津川町	27.3%
8	上士幌町	27.3%
9	千歳市	26.1%
10	留萌市	25.0%
全道平均の女性比率		12.4%



出典：道内市町村女性の参画マップ（2019年，北海道）



CO₂観測（落石岬）

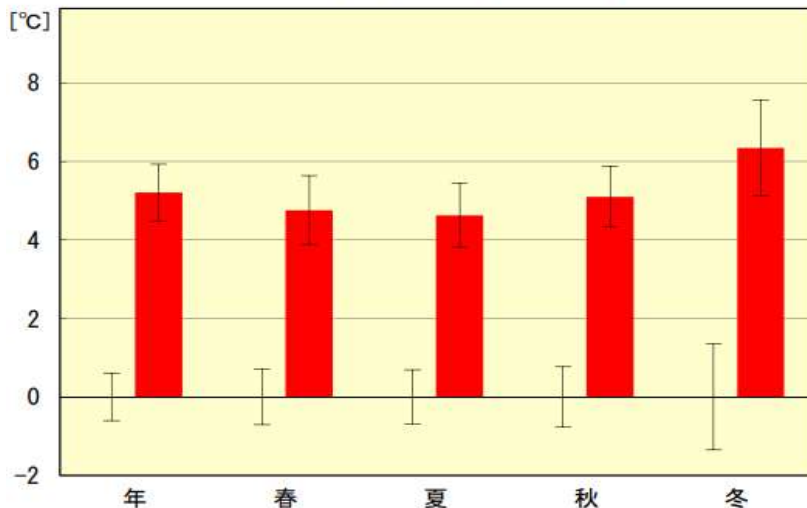


■ 図 14 波照間、落石岬ステーションにおける二酸化炭素濃度変化（上）と濃度増加速度（下）の変動

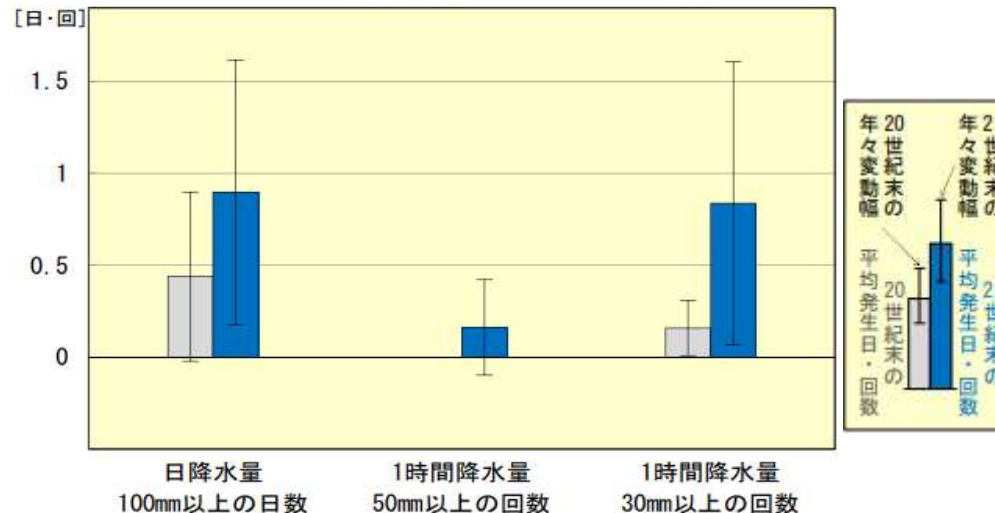


今世紀末の釧路

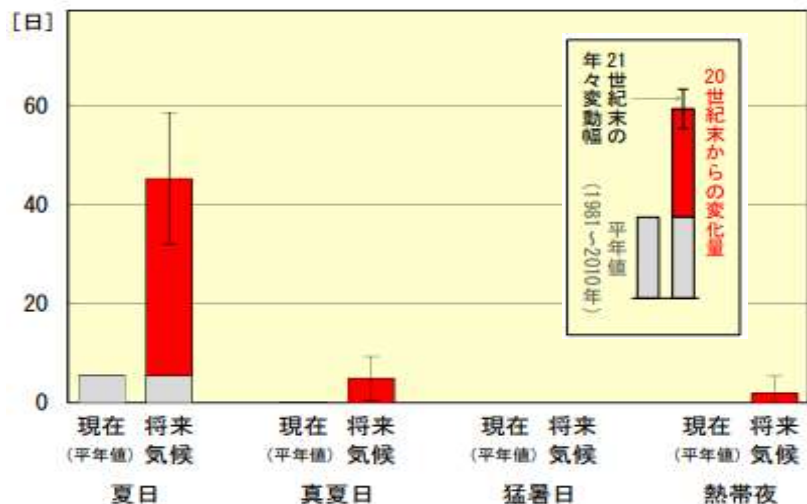
年・季節別の平均気温の変化



大雨等の1地点あたりの発生日（回）数の変化



夏日・真夏日等の日数の変化



2100年「未来の天気予報」(環境省)



出典：北海道地球温暖化予測情報（2019年，札幌管区气象台）より抜粋



7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を

エネルギー セキュリティ

再エネは万能薬？





環境問題のジレンマ



×

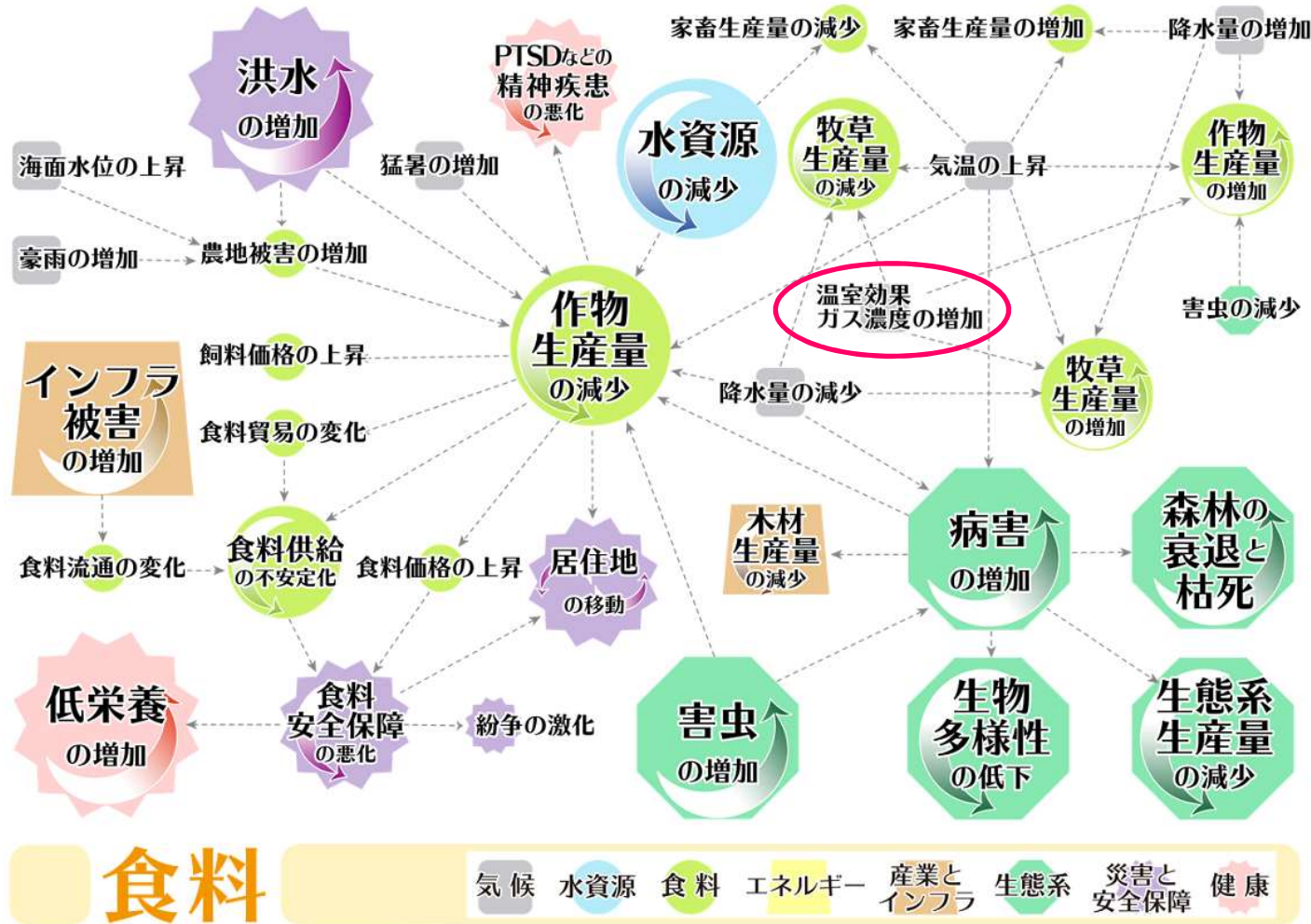


=

〈問い〉 この問題はどうすれば解決できると思いますか？



17の目標（課題）はつながっている



出典：国立環境研究所地球環境研究センター



今の生活水準を維持するには・・・

日本が地球に与える 影響の大きさ

日本人と同じ生活を
世界中の人がしたとしたら、
必要な地球の個数は？

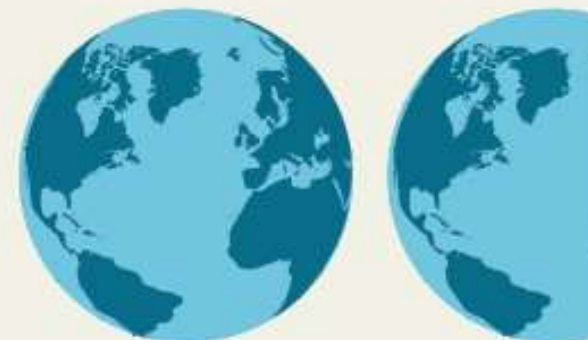
2.9 個



世界の人々の生活を支えるには

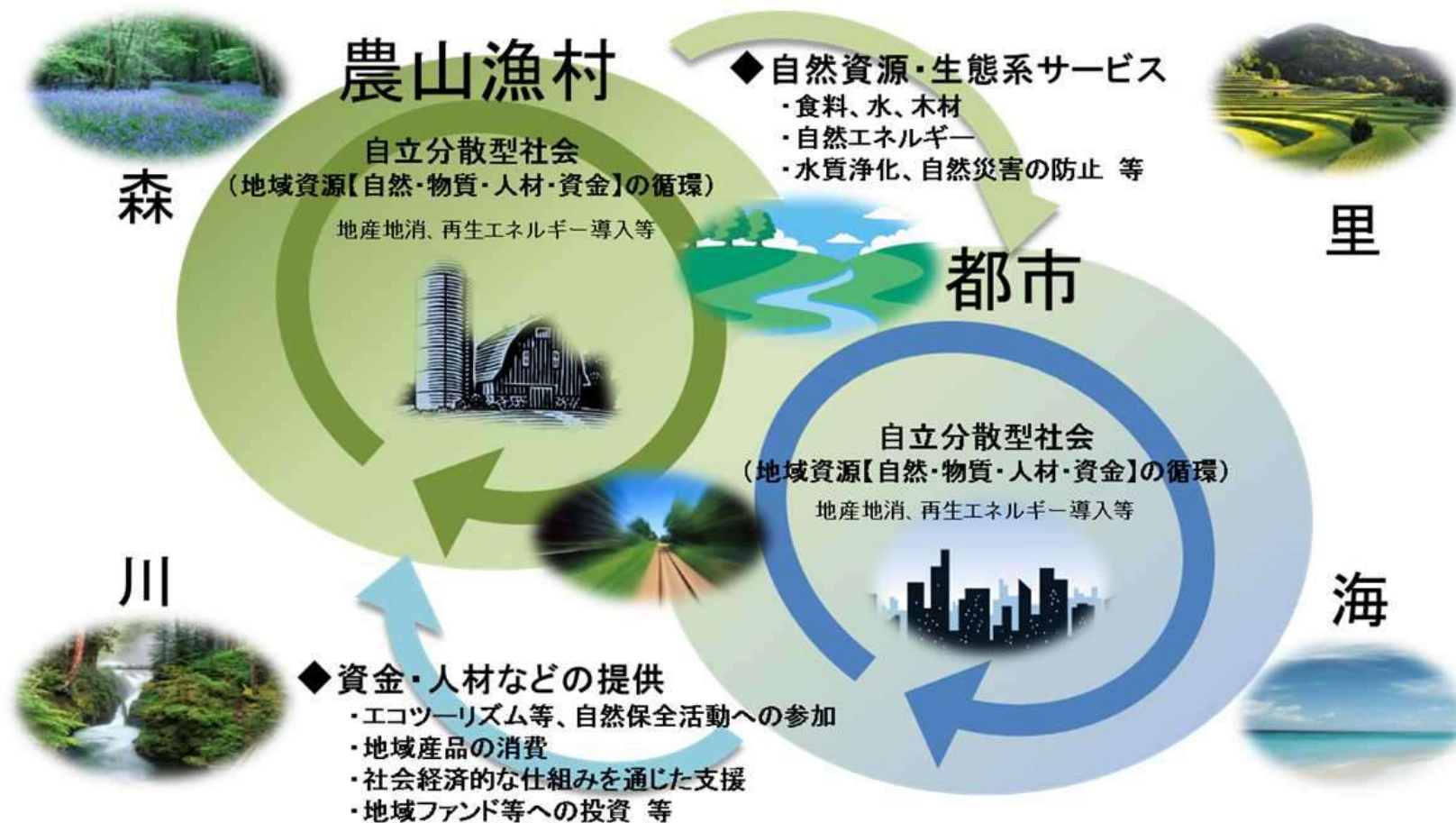
地球 1.7 個分が必要

私たちの生活は、地球が生産・吸収できる能力を超えてしまっている。



出典：日本のエコロジカルフットプリント2017最新版（公益財団法人世界自然保護基金ジャパン）

地域循環共生圏



出典：令和元年度環境白書

エネルギー自立

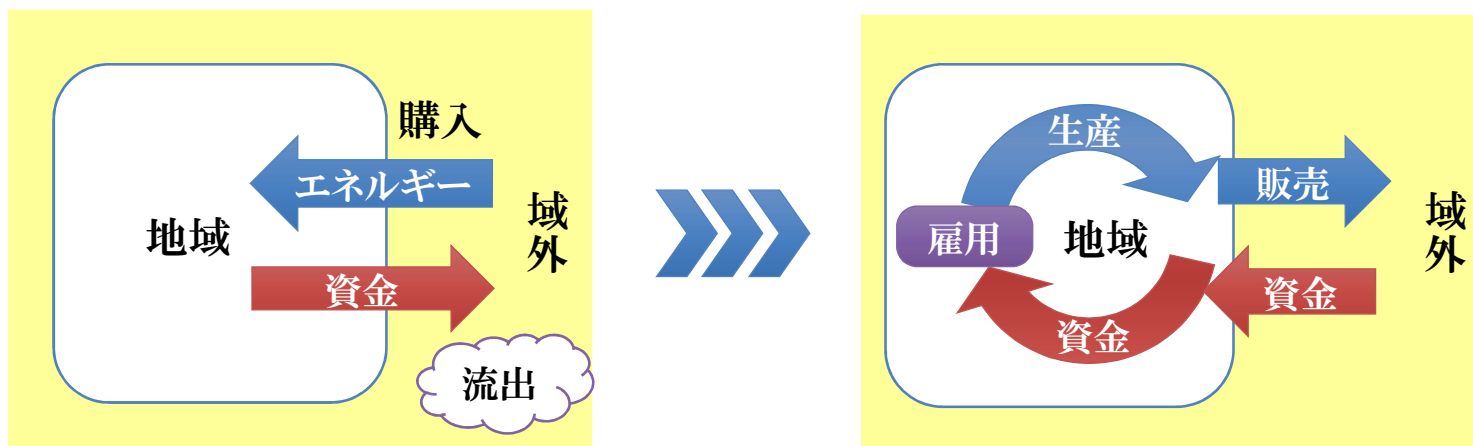
域内で

消費する
エネルギー

≦

生産する
エネルギー

- 電力・熱・交通等の全てが対象
- 再生可能エネルギーによる代替(大都市では地域間連携も)
- 劇的な省エネが大前提
- 地元主導で転換(エネルギー大手や相場への依存からの脱却)



- 良質な生活(電力・熱の安価・安定供給、居住環境)
- 美しく活気ある町・村(雇用創出・維持、環境保全、地域の魅力向上)

ESG投資による価値評価の変化

- ✓ キャッシュフローや利益率などの定量的な財務情報だけではなく、**環境**（Environment）、**社会**（Social）、**企業統治**（Governance）等の**非財務情報**を用いて投資価値を評価。
- ✓ 国連が2006年に提唱した責任投資原則（PRI）に、世界の機関投資家約2400機関が署名。2015年には我が国の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF、約160兆円運用）が加盟し、**金融機関**に波及。
- ✓ **気候サミット**（2019年9月）では、世界の主要515機関投資家（運用資産計3770兆円）が共同宣言で各国の削減強化を要請。（気候変動はすでに**巨大な経営リスク**と認識されている。）
- ✓ **ダイベストメント**：石炭・石油，武器，たばこ等からの資金引き上げ（「座礁資産」化）

〈問い〉 今後これらが加速したとき、みなさんの仕事や暮らしにどのような影響があると思いますか？

SDGs ウォッシュ?

- ✓ 「SDGsの本質とねらいを理解せず、本気ではないにもかかわらず、表面的に自社の活動によってSDGsに取り組んでいるふりをする、すなわちうわべだけのSDGs活動。」（EICネット「環境用語集」より）
- ✓ グリーンウォッシュ： 実態が伴わなかったり根拠不明にもかかわらず「環境にいい」「地球にやさしい」ことをPRする企業の宣伝行為を指す。ある部分で環境配慮していても不都合な情報は出さないことなども対象とされる。
- ✓ 学生・若者は見ている！（企業価値に影響）

「マッピング」から次のステップへ

- ✓ 活動と17の目標との関わりを考える「マッピング」は出発点として重要。
- ✓ SDGsの本質を理解し、活動・組織・地域がどう変わっていかなければならないかを考えることがより重要。
(トランスフォーメーション, バックキャストイング, 「誰一人とりのこさない」, 経済・社会・環境の統合, 目標の相互連関, …)
- ✓ 全体に筋を通すことで説得力が増す。
- ✓ 169の具体的な目標はチェックリストとして使える。
(ただし, ローカライズ・カスタマイズが必要。)

たくさんのナビゲーター（しかも無料）



私たちのまちにとっての
SDGs (持続可能な開発目標)
-導入のためのガイドライン-

【SDGs達成に向けて取り組む意義とメリット】

編集：自治体SDGsガイドライン検討委員会
発行：IBEC 建築環境・省エネルギー機構
Institute for Building Environment and Energy Conservation

問題のある目標設定の事例

- ① 総花的で主張の不明瞭な目標
- ② 既存の縦割り組織をそのまま反映した目標
- ③ ガバナンスとマネジメントが不明確な目標
- ④ 市民の姿が見えない目標
- ⑤ 補助金申請のみに終始し、事業計画が具体性に欠ける目標
- ⑥ 具体的な達成目標の示されない目標
- ⑦ 事業スキームの経済合理性にかける目標
- ⑧ 公民連携における不明確な役割分担
- ⑨ 多様な人材の登用に欠ける目標
- ⑩ 地域の生活者サイドの視点だけで、需要サイドの視点が見られない目標

出典:「私たちのまちにとってのSDGs-導入のためのガイドライン-」(2017年,一般財団法人建築環境・省エネルギー機構)p41より抜粋)

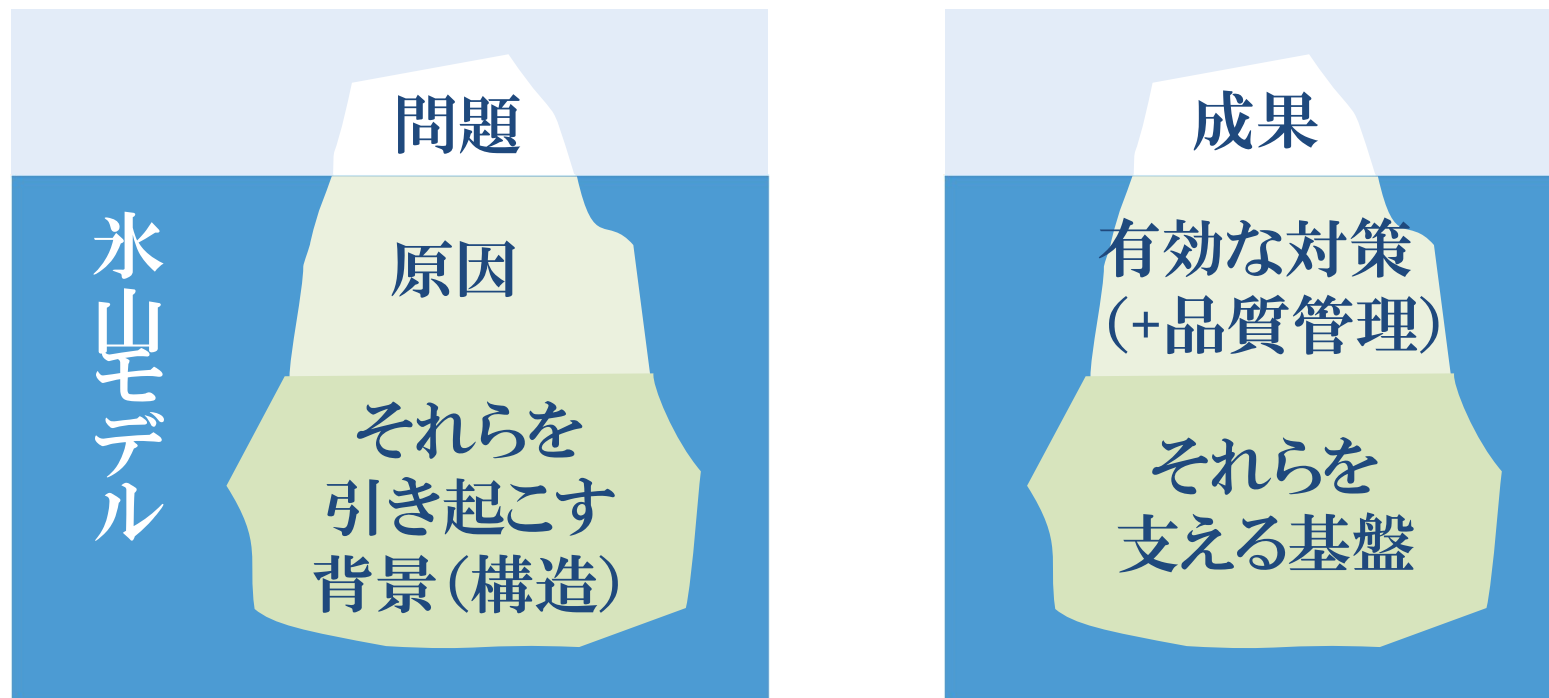
陥りやすい失敗

- ① 解決策を急いでも，そもそもの問題が見えていない
- ② 「流行り」のトピックばかりに注目が集まる
- ③ 似た背景の人同士が集まり，発想が行き詰まる
- ④ NPO，行政，企業で価値観が違うので組めない
- ⑤ 同じテーマに取り組む人同士の覇権争い
- ⑥ 悪いところを指摘し合いルールや報酬の曖昧さなどが生む相互不信
- ⑦ 主導権争い，組織からの制約
- ⑧ 立ち上がりは盛り上がるが続かない
- ⑨ 継続することが目的となり，マンネリ化してしまう

出典：佐藤真久・広石拓司，2018，ソーシャルプロジェクトを成功に導く12ステップ，みくに出版

精神論・自己責任論からシステム思考へ

- ✓ 社会課題 = 個別の努力では解決できない問題
- ✓ 対症療法は無効（因果関係は単純ではない）



<問い> 課題が生まれる**構造**は見えていますか？（**見立て**）
どこに手を打つことが有効ですか？（**打ち手**）

活動・事業のマネジメント

- ✓ 人々が共感する 大きなビジョン (上位目標)
- ✓ そのステップとしての 具体的な計画
= 到達目標 + 期限 + 手段

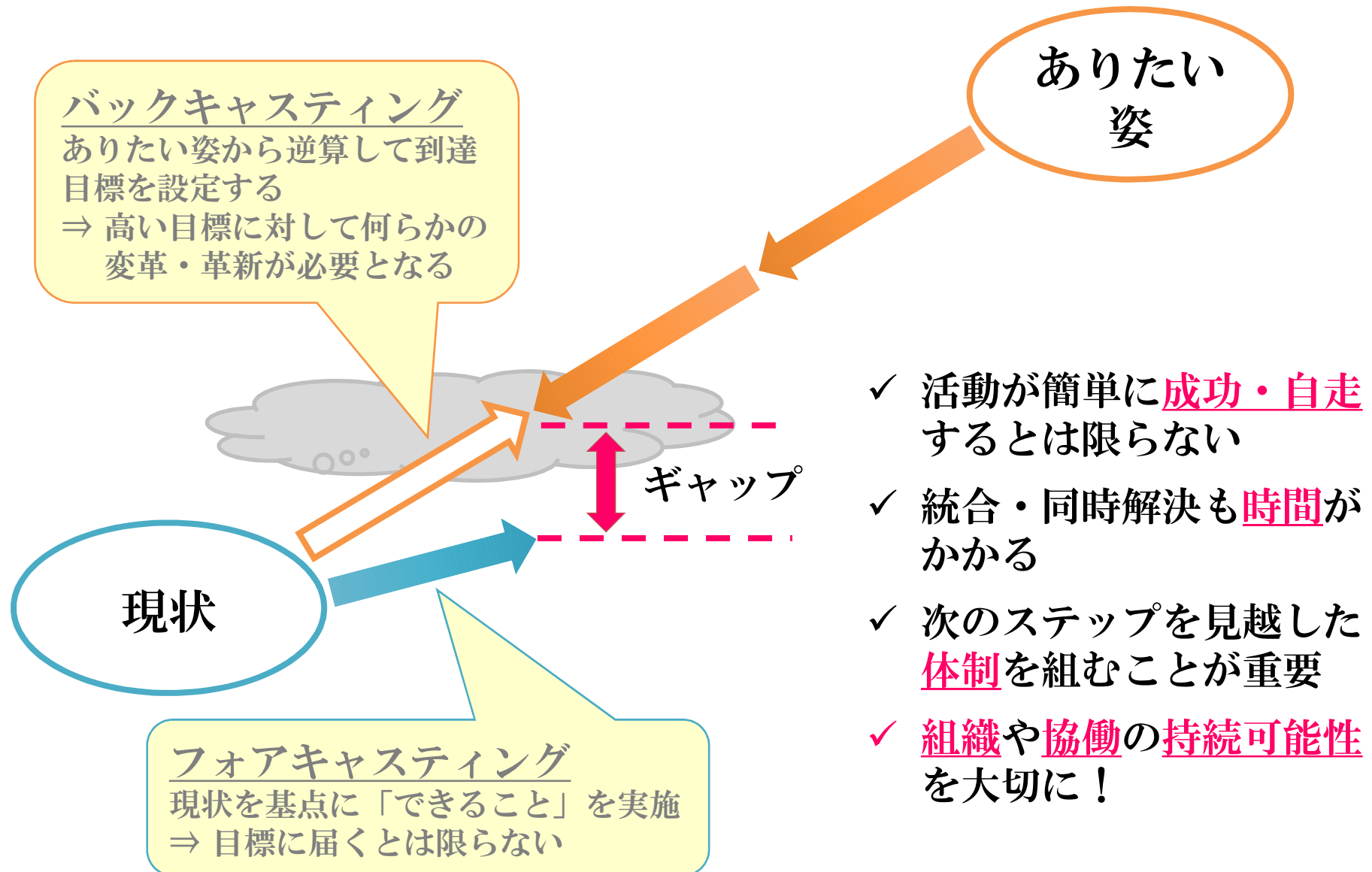
(17のGoal ≠ プロジェクト目標)
- ✓ ロジックモデル (目標・手法・結果の因果関係の設計)
による事業計画・進行管理)
- ✓ 評価による説明責任と自己改善



マルチステークホルダー

- ✓ 当事者・関係者・必要な人のリストアップ（マッピング）
- ✓ 目標達成に必要な人・組織の参画・巻き込み（の仕組み）
（⇔「仲間内」の限界）
- ✓ 利害が対立しても，上位目標には賛同・共感できる
（例：地域の存続，こども・若者の支援，…）
- ✓ 「よそ者」の活用，その他，あの手この手…

まずやってみる～ステップの設計へ



ご静聴ありがとうございました



EPO北海道「SDGs ガイドライン・ツール集」もご活用ください
<https://epohok.jp/act/info/10041>